

「高度かつ専門的な医療と温かみのある医療サービスの提供で、
能登全域の住民の健康を守ります。」



センター長のごあいさつ

新たな年度に入り、2カ月経過しました。

大学等からの配属で多くの人材（財）が加わり、新しい風を感じ私も身を改める思いです。地域医療支援センターにも新たなメンバーが加わり、より一層地域医療の充実に向け力を尽くしてまいります。

また、5月からは地域医療支援病院としての役割も担うこととなりました。地域の皆さんと連携を積み重ねてきた成果が今回の承認につながったものと感じております。

地域の皆さんとの連携の窓口として、連携室一同フットワークを軽く愛嬌をもって地域連携業務に取り組んでまいりたいと存じます。

地域医療支援センター長 山端 潤也

地域医療支援センターの紹介

地域医療支援センターの新たなメンバーを紹介いたします。

4月より地域医療支援センター副センター長を拝命しました。

これまで救命救急センター長を担当していましたが、この4月からは金沢大学救急部より異動された後藤由和先生に引き受けていただくこととなりました。ただし、救命救急センター副センター長も引き続き兼任します。私の方がこれまで以上に支援いただくことになりそうです。

震災を経て、「地域で医療を支える」ことを強く意識するようになりました。他の医療機関・福祉施設・行政サービス・企業などの様々な方々と顔の見える関係を築き、力を合わせることで、多くのことがスムーズに動くようになると思っています。

今後ともよろしくお願いいたします。



副センター長
副院長
喜多 大輔
きた だいすけ



副センター長
看護部副部長
関 利志子
ねや りしこ

これまで病棟や外来で患者さんのケアに関わる業務を主としておりましたが、今年度より地域医療支援センター副センター長として配属されることになりました。

当院は、能登半島全域の医療を支える三次救急病院の役割に加え、令和7年5月より地域の医療機関を支援する地域医療支援病院として承認されました。

かかりつけ医の皆さんと連携しながら、地域医療の中心的な役割を担う責務を持ち、日々の連携業務に取り組んでいます。地域の皆さんとの連携の窓口として地域医療支援センターがあります。

地域医療支援センターでは“地域との絆”を大切に、患者さんが安心して適切な診療やケアが受けられるよう、地域の医療・ケアスタッフの皆さんと連携や情報共有に力を入れていきたいと思っています。

不慣れな点もありご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆さま、どうぞ宜しくお願いいたします。

能登半島地震活動報告集ができました



令和6年1月の能登半島地震での活動記録をとりまとめた報告書を当院ホームページに公開いたしました。

院内の対応や関係機関の皆様のご協力などがまとめられています。ぜひご覧ください。

下記QRコードを読み取っていただいてもご覧いただけます。



公式Instagram始めました（臨床研修と精神）

院内活動の啓発を目的に公立能登総合病院「Instagram」を始めています。

下記のアカウントが運用されていますので、ご興味がある方はフォローしてくださいと幸いです。



地域医療支援病院について

令和7年5月より、当院は「地域医療支援病院」として石川県の承認を得ることができました。

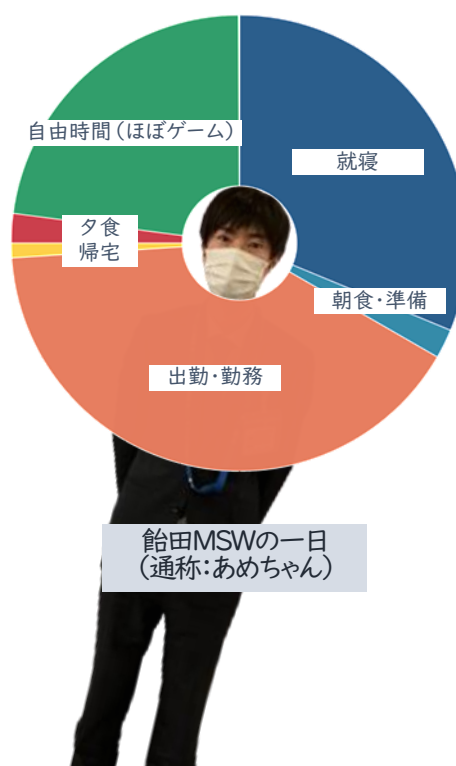
かかりつけ医等を支援し、地域医療の中心的な役割を担う病院として、県内で7番目に認定されました。

役割

1. 紹介患者に対する医療の提供
2. 医療機器の共同利用の実施
3. 救急医療の提供
4. 地域の医療従事者に対する研修の実施

上記の役割を担うため連携業務の充実に努めていきますので、ご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。

とある若手MSWの一日 ～二年目を迎えて～



地域医療支援センターで働く若手MSWの一日をご紹介します。

あくまで一例なので、都度、患者さんやご家族との面接、連携カンファレンス、退院調整などを実施しています。

8:30	勤務開始
	・朝礼・1日のスケジュール確認 ・カルテチェック ・患者さん、家族との面談 ・カルテ入力 ・退院支援カンファレンス
12:00	昼休憩
	・退院支援カンファレンス ・関係機関と情報連携、委員会参加 ・患者さんやご家族と面談 ・カルテ入力
17:15	勤務終了

小児科休日当番日のご案内

5月 3,6
6月 2,23
7月 7,28
8月 12



【発行元】

〒926-0816
七尾市藤橋町ア部6番地4
公立能登総合病院
地域医療支援センター
TEL:0767-52-8718
FAX:0767-52-8772
Email:renkei@noto-hospital.jp